

第36回伝統的工芸品月間国民会議全国大会の「岩手県」開催について

平成30年5月17日（木）に、「伝統的工芸品月間推進会議（議長：三村明夫 日本商工会議所会頭）」が経済産業省において開催され、2019年11月に開催される「第36回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」（以下「全国大会」という。）を岩手県で開催することに決定されました。

全国大会は、歴史と風土に育まれた本県の優れた伝統的工芸品を国内外に発信できる絶好の機会であり、今大会の開催を、伝統工芸産業の持続的な発展の契機としていきたいと考えています。

なお、本県での開催は、平成12年度以来、19年ぶり2度目となります。

1 全国大会の概要

- (1) 会期 2019年11月2日（土）から11月5日（火）まで
- (2) 開催地 岩手県（盛岡市等）

2 全国大会について

(1) 概要

伝統的工芸品月間国民会議全国大会は、経済産業省が伝統的工芸品に対する国民の理解とその一層の普及を目指し、昭和59年から、毎年11月を伝統的工芸品月間と定めて全国各地で開催しているもので、毎年5万人～10万人の方が来場されます。

(2) 平成30年度の開催予定

- ア 会期 平成30年11月1日（木）から11月4日（日）まで
- イ 開催地 福岡県（福岡市等）

(3) 過去3年間の開催状況

- ア 平成27年度 富山県（高岡市）
- イ 平成28年度 福井県（鯖江市、越前市）
- ウ 平成29年度 東京都（千代田区 東京国際フォーラム等）

3 平成12年度「第17回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の実施状況

- (1) 会期 平成12年11月2日（木）から11月5日（日）まで
- (2) 会場 岩手産業文化センター（アピオ）、盛岡市民文化ホール他
- (3) 来場者数 108,400人

4 今後について

関係団体、関係市町村等を構成団体とする全国大会開催に係る準備委員会を設立し、催事内容等について協議していきます。

5 参考 本県の伝統的工芸品

伝統的工芸品は伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和47年法律第57号）に基づき経済産業大臣の指定を受けた工芸品です。

本県は、南部鉄器（昭和50年2月指定）、岩谷堂箆笥（昭和57年3月指定）、秀衡塗（昭和60年5月指定）、浄法寺塗（昭和60年5月指定）が指定されています。